

あなたと町政を結ぶ



みのぶ 議会だより

2023
9月定例会
No. 76



令和4年度一般会計決算認定！

令和4年度一般会計歳入・歳出決算を認定

歳入総額 110 億 274 万円 歳出総額 99 億 7820 万円

議員が
ピックアップ

注目すべき事業と決算額を写真付きで掲載
ただし、決算額は令和4年度分のみです
詳細は「広報みのぶ11月号」をご覧ください

ふるさと納税支援 1207万円



みのワン周知宣伝業務委託 396万円



しだれ桜の里づくり 3963万円



あけぼの大豆拠点施設指定管理料 1450万円



学校給食費補助金 2563万円



みのぶ自然の里運営事業指定管理料 960万円



生きがいデイサービス事業 2398万円



商品券交付事業 2億6640万円



放課後児童健全育成 2055万円



学童保育の利用者は増加傾向

配食サービス事業 1338万円



高齢者へのお弁当宅配、安否確認も

**峡南地域ネクスト共創会議事業 370万円
(シェアサイクル整備事業など)**



峡南地域の観光振興のための連携強化

ごみ収集運搬業務 3938万円



各家庭のごみ収集を民間委託

通学対策事業 1億1223万円



小・中学生のためのスクールバス運行

消防ポンプ車 1台購入 2507万円



地域の安心・安全のために配備

学校給食センター建設 3億5677万円



最新の設備で毎日600食の安心・安全な給食を提供

中学校新校舎建設 4億9681万円



令和6年4月開校 県内初の大規模木造校舎

中富西部簡易水道 1億6497万円



曙地区矢細工貯水槽

健康増進施設建設 1億3991万円



民間の力を活用して建設した健康増進のための温泉施設

第3回定例会の主な議案and決まったこと

第3回定例会は、令和5年9月6日から9月15日までの10日間の会期で開催された。今定例会では、令和4年度身延町一般会計および特別会計歳入歳出決算認定案をはじめ、条例の制定及び条例の一部を改正する案5件、令和5年度身延町一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案3件および発議案件等審議がされ、いずれも可決されました。

認定・報告

●令和4年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定
 〈代表監査委員 中澤俊雄〉

○一般会計

決算収支状況は、一般会計及び特別会計共に、実質収支において黒字決算となつている。職員の経費削減、事務事業の効率的な執行など、積極的な努力が見受けられると報告があり、議会の認定に付され、担当所管に引き継がれた。

●令和4年度決算に基づく身延町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

令和4年度決算に基づく財政健全化審査を実施した結果、地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づき算定された各比率は早期健全化基準をそれぞれ下回っている。特に実質公債費比率は前年度同様マイナスとなった。

今後、財政の健全化に努められ、各事業の目的・必要性、投資効果等を十分に検討し、是正・改善等の見直しに

積極的に取り組む必要があるとの意見があった。

条例制定

●身延町味噌加工施設条例の制定について

「身延町味噌加工施設」の設置及び管理に関し必要な事項を定めるため、身延町味噌加工施設条例を制定する必要が生じたため。



改修する中富給食センター

条例改正

●身延町印鑑条例の一部を改正する条例について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が令和5年5月11日に施行されたことに伴い、身延

町印鑑条例の一部を改正する必要が生じたため。

●身延町職員給与条例の一部を改正する条例について

新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律が令和5年9月1日に施行されたことに伴い、身延町職員給与条例の一部を改正する必要が生じたため。

●身延町キャンプ場条例の一部を改正する条例について

「身延町いこいの森キャンプ場」内の老朽化した施設を解体・除去することに伴い、身延町キャンプ場条例の一部を改正する必要が生じたため。

●身延町子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例について

こども家庭庁設置法の施行に伴う法律が令和5年4月1日から施行されたこと及び地域の自主性及び自立性を高めるための関係法律が令和5年9月16日から施行することに伴い身延町子ども子育て会議条例等の一部を改正する必要が生じたため。

人事案件

●身延町教育委員会委員任命
 氏名 小林美絵（身延地区）
 任期 令和5年11月19日～
 令和9年11月18日



●身延町公平委員会委員任命
 氏名 赤池一博（下部地区）
 任期 令和5年11月19日～
 令和9年11月18日



補正予算

令和5年度身延町一般会計

補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億724万8000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ108億2972万7000円とする。

(主な歳入)

- ・国庫支出金△6254万円
- ・県支出金 328万円
- ・繰越金 1億3070万円
- ・町債 1億3580万円

(主な歳出)

- ・総務費 1574万円
- ・民生費 1761万円
- ・衛生費 4382万円
- ・農林水産業費1656万円
- ・商工費 364万円
- ・土木費 8440万円
- ・消防費 192万円
- ・教育費 2237万円
- ・諸支出金 116万円

令和5年度身延町介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ79万2000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ23億

7321万円とする。

(主な歳入)

- ・繰越金 79万円
- ・諸支出金 79万円

令和5年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3983万1000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ5億9190万円とする。

(主な歳入)

- ・繰入金 3983万円
- ・水道維持費 3983万円

令和5年度身延町下部奥の湯温泉事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ56万5000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ806万5000円とする。

(主な歳入)

- ・繰入金 56万円
- ・温泉事業費 56万円

財産の取得

味噌加工施設備品

旧中富給食センターを味噌加工施設として再整備に当り、関連備品を調達する実用が生じたため。

主な物品は、ステンレス製の漉し機、混合攪拌機カス煮炊釜等1485万円

発委

●身延町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、議会の議員に係る請負に関する規制が緩和されたことを踏まえ、町に対して請負をする議員が当該請負の対価として各会計年度に町から支払いを受けた金銭の総額等を議長に報告し、当該報告の内容を議長が公表することにより請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公平性及び事務の執行の適正化を図るため。

請願

●加配定数の振り替えによりない小学校35人学級実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育国庫負担制度拡充を図るための請願書

・小学校の35人学級に当たっては、加配定数の振り替えではなく、教職員定数の実質的な増員で行なうこと。また、中学校への35人学級を実施すること。

・学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員などの教職員定数改善を推進すること。

・義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償性の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

・教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

発議

●加配定数の振り替えによりない小学校35人学級実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育国庫負担制度拡充を図るための意見書

・全員一致で採択され、関係機関へ意見書を提出

※議員発議とは

議案は通常町長から提案されますが、議員から「発議案」、委員会から「発委案」として提案することができます。議員発議（委員会発議）では主に「条例」や「意見書」などが提案されます。



常任委員会レポート

委員会は、議会に提出された議案などを、集中的に審査するために設置された議会の内部機関です。常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があり、設置は条例で定められています。現在設置されている常任委員会は、予算決算常任委員会、総務産業建設常任委員会、教育厚生常任委員会の3委員会です。委員会では、付託された議案について、質疑等により所管課から説明を受け、審査を行ないます。審査が終わると採決が行なわれ、委員会としての賛否が決定し、再び本会議での議題となります。ここではその審査内容を掲載しています。

予算決算常任委員会

委員長
望月悟良

▼現地調査（9月6日）
青少年自然の里ボイラーの修繕
（中富地区 平須地内）



（中富地区 平須地内）

いこいの森キャンプ場
解体予定バンガロー
（下部地区 本栖湖畔）



（下部地区 本栖湖畔）

道の駅予定地 和紙の里
（中富地区 西嶋地内）



（中富地区 西嶋地内）

▼認定第1号

令和4年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

伊藤達美委員 令和4年度の

入札の中で一般競争入札は
何件か。

財政課 8件である。

伊藤達美委員 その案件と、

一般競争入札となる基準は、

財政課 「一般家庭」み収集
運搬業務」「中学校建設工

事関係3件」「学校給食センター」建設関係3件」「スポーツビジネススクリーナ

「調達」の計8件。工事は
予定価格1億円以上、業務
委託及び物品調達は、案件
ごとの性質を考慮し、指名
会議にて審査決定したもの。

遠藤公久副委員長 減債基金

の繰入金は、合併特例債へ
繰り入れたとのことだが、
当初から予定されていたも
のなのか。またメリットは、

財政課 合併特例事業債は5

年ごとの利率の見直し条件
で借入れを行なっている。
昨年度、平成29年度に借入
れを行なった合併特例事業
債の利率を見直したところ、
利率が上がるのが判明し
たため、返済を行なった。

佐野昇委員 草刈りはどのよ

うな基準で発注をしている
のか。

財政課 シルバー人材セン

ターへ発注している。これ
は高齢者の雇用の安定確保
に関する法律によるもの。
シルバー人材センターで実
施が難しいような規模の大

きいものは町内の建設業者
に発注している。

山下利彦委員 久那土出張所

管理費、古閑出張所管理費
それぞれ約130万円計上
されている。経費削減を考
えていく中で出張所はいつ
まで続けるのか。

下部支所 出張所のあり方や

今後については、総務課等
とも協議して進めていく事
案である。現時点で方向性
は示せない。

広島法明委員 温泉温度セン

サー修繕のセンサーの取り
付け場所と、監視システム
モバイル通信料とあるが下
部支所内でも源泉の温度は
確認できるのか。

下部支所 施設の温度管理や

送湯量や汲み上げ量等を支
所内のパソコンやスマート
フォンで確認できる。

佐野昇委員 門野の湯の利用

者数について、今年の目標
数は決めているか。

身延支所 今年度目標は1万

人の利用者数と定めている。

山下利彦委員 和紙の里の芝生広場は芝の状態が悪く、管理が行き届いていないと思われるが対応は。

生涯学習課 現在会計年度職員1人により乗用草刈機等使用しながら芝生広場は管理している。広場を貸し出しすることもあり整備できない期間もあるが、今後は担当職員も積極的に対応し、適切な管理に努めていく。



西嶋和紙の里 味菜庵

付される補助金。本町はこの補助金を文化財保護事業費の世界文化遺産富士山保存協議会負担金に充当。世界遺産の普及啓発事業や景観保全のためのモニターング調査が実施されている。

伊藤雄波委員 リバーサイドパーク管理費委託料とは。

生涯学習課 シルバー人材センターへの定期清掃と草刈り作業の委託料である。

佐野知世委員 町内の木喰仏等文化財の適切な保存のための取り組みは。

生涯学習課 定期的に文化財を巡視。必要に応じて文化財の所有者や管理者に保存

方法等の助言や文化財保存事業補助金を紹介。微笑館で毎年収蔵資料の燻蒸を行なう際には、丸畑の木喰仏所蔵者等へも連絡し、燻蒸実施を働きかけている。

遠藤公久副委員長 タブレット教室の開催頻度、参加者の年齢構成は。

生涯学習課 令和4年度は9回開催し、延べ60人が参加。60代以上が占めている。

遠藤公久副委員長 味菜庵に対する休業補償金の金額の算出根拠は。

生涯学習課 過去の売り上げの日額を参考として平日2万5000円、祝休日5万円と設定し、それを休業した平日8日間、祝休日5日間を掛けた金額である。

努力をしている。今後は、令和6年度当初予算計上時に検討したい。

遠藤公久副委員長 図書購入にあたっては新刊の割合など基準があるのか。

生涯学習課 町立図書館の場合は新刊や地域資料などをおおよそ週30〜40冊程度購入している。

山下利彦委員 しだれ桜の里事業は、維持管理を含め今後の展開、方向性をどのように考えているか。また集客については。

観光課 しだれ桜の里の維持管理業務は、まだ幼木の桜も数多く、成長に際し不安定な面もあるため、数年は専門業者への委託が必要と考える。経費は、除草作業をシルバー人材センターに発注したことにより、経費削減が図られたので、今後も全体的に経費削減が図られるように努めていく。排水路工事は今年度が3箇年計画の最終年になる。集客イベントは、スモールスタートで実施していく。町

民自らの手で「日本一のしだれ桜の里」の実現を目指す目的で各区等に苗木の原材料支給を実施している。

遠藤公久副委員長 マイナバーカードの身延町での返納の実績は。

町民課 現時点ではない。

山下利彦委員 重度心身障害者医療費対策費支給事業へナルティ補填分等の歳入金額は。

町民課 身延町やその他多くの自治体で窓口無償化としており、そのことにより国の特別調整交付金が減額されているので、一般会計から減額の補填分として繰入をしているもの。

渡辺文子委員 未就学児等均等割保険税の軽減対象者は。
町民課 29世帯40人である。

渡辺文子委員 後期高齢者医療普通徴収滞納者の内訳は。

町民課 滞納者は全員で16名。現年度分のみが6名、滞納繰越分のみが6名、現年度分と滞納繰越分の両方

深山光信委員 富士山世界文化遺産保存活用推進事業費補助金の内容は。

生涯学習課 世界文化遺産富士山の保存活用を推進する団体に対して山梨県より交



木喰の里 微笑館

深山光信委員 草刈り業務を委託したほうがよいか、職員が直接したほうがよいか、現在の考えは。

生涯学習課 今年度は、乗用草刈機を購入し職員が直接草刈りを行なうことにより少しでも業務委託を減らす

が4名である。

渡辺文子委員 養育支援訪問事業の委託先は。

子育て支援課 主に家事援助になる。社会福祉協議会のヘルパーである。

遠藤公久副委員長 幼児期の発達支援事業について、子育て支援課と学校教育課との連携は取れているのか。

子育て支援課 総合的な分野において会議等で学校教育課との連携を取っている。各事案については、就学時健診等により学校と子育て支援課、保育所で情報を引き継いでいる。

佐野昇委員 田舎暮らしを体験して移住につなげるための清子と古関の体験施設の成果は。

企画政策課 令和4年度は、清子館のみ利用があり、古関館は利用者なし。令和5年度は、現在2館とも利用者があり、問い合わせも多数きている状況である。



田舎暮らし体験施設 (古関館)

田中一泰委員 今までの空き家バンクの成果は。

企画政策課 令和4年度末までの累計で空き家の成約数は121件、土地の成約数は8件である。

山下利彦委員 移住コーディネーターの仕事内容、実績評価は。

企画政策課 田舎くらし推進担当に地域おこし協力隊として配属。業務内容は空き家バンクに関する業務全般や移住相談等、移住希望者の支援を担っている。

伊藤達美委員 農山漁村発イ

ノバージョン等整備事業交流対策型活性化計画策定業務委託は、どういった業務委託か。財源は。

産業課 事業採択に向けた計画の策定及び味噌加工施設・道の駅しもべ改修の実設計。財源はまちづくり振興基金である。

佐野知世委員 狩猟の報酬の財源は。また、実績は。

産業課 林業振興事務費の有害鳥獣捕獲奨励金で1850万3000円であり、この2分の1が県の補助金。奨励金の単価は、イノシシ及びシカは1万4000円、サルは2万5000円。令和4年度の捕獲の実績はシカ763頭、イノシシ94頭、サル259頭。

伊藤達美委員 指定管理料は、今後利益が出た場合どのように対応するのかという基準を持つべきだが。

産業課 町としては、総務課が事務局となり選定委員会により指定管理の公募・調整等を行なっている。その

中

で指定期間中の収支に対し、町へは使用料を指定管理者が納める形で進めてきた。今後指定管理者の施設運営状況に応じて、黒字になった場合は数%を町に入れる形を検討している。

伊藤雄波委員 活力ある水田農業支援事業はどんな事業か。

産業課 水田に関する事業を行なった場合に備品等を購入入できる補助金である。今回はあけぼの大豆の選別機等の購入になる。

佐野昇委員 選挙ポスター掲示場の設置業務委託は、県外の業者に委託をしていると聞いているが発注先は。

総務課 中富地区、下部地区は町内の業者に発注。身延地区は、町内に設置するポスター掲示場の材料等の制作を含めて静岡の選挙関連の専門業者に委託している。

渡辺文子委員 令和4年度の就学援助について、小学校、中学校それぞれの認定数は、

学校5人である。

深山光信委員 部活動指導員の人数と部および支出金額内訳は。

学校教育課 部活動指導員は2名、柔道部27万2166円、吹奏楽部24万6264円である。

佐野昇委員 イングリッシュ・キャンプ事業の今後は。

学校教育課 今後も継続していく予定。今年度は中学2年生でも実施する予定。

伊藤達美委員 中学校建設事業の、現在の進捗率はいかがか。また、竣工は予定通りの見込みか。

施設整備課 令和5年8月末の建設工事の進捗率は62.9%。早めの完成が見込まれる。

佐野昇委員 除雪の作業基準はあるのか。

建設課 降雪5cmを確認し委託業者が作業を開始する。

渡辺文子委員 消防団の報酬が新聞報道で身延町は県内で最低レベルだが。

交通防災課 数年前に金額を

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

遠藤公久副委員長 乗合タクシーの運行形態が各地区によって違い、身延地区は定時定路線方式、下部・中富地区はデマンド方式を採用

地域によって利用方法が違い平等ではないと感じるが、

交通防災課 身延地区は国道52号線と大河内地区の県道の大動脈が2本通っていて、道沿いに多くの方が住んでいる為、デマンド方式より定時定路線の方が効率的との考えでスタートしている。現在も大通りだけを通っているわけではなく出来る限り脇道へも入っている状況である。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

伊藤達美委員 地域公共交通活性化協議会委員を刷新してはどうか。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

交通防災課 協議会委員は規約により決まっている。道路管理者、警察、交通事業者、利用者代表、学識経験者では商工会などである。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

伊藤達美委員 公共交通は、多額の費用を使うので地域に出向き、利用者の声を聴くべきと思うが。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

交通防災課 利用者の声を聴くことは事業を進める上で必要なこと。意見を伺えるのは公聴会だけではないという部分も踏まえ検討する。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

▼議案第57号 一般会計補正予算(第4号)

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

遠藤公久副委員長 農山漁村発イノベーション等整備事業補助金が不採択となり減額補正となっている。不採択に関する財政課の分析は、

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

財政課 補助率が良い補助金については、非常に人気があり全国から応募が殺到すると思われる。今回はそうした背景もあり、採択がされなかったと推察する。

遠藤公久副委員長 今回のように採択されない一般財

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

源からの持ち出しとなりかねない。このため、財政課としても財源の確保が可能なのか査定を厳しく行なっていたいただきたいが。

財政課 査定においては厳しく審査するよう努める。

佐野昇委員 道の駅に向けて、補正予算を計上しているが、どのくらいの集客数を見込んでいるのか。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

生涯学習課 現在、整備計画を基に、財源である国の補助金の確保を目指している。指定管理候補者も決定したので、協働してより集客できるように順次計画を進めていく。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。



西嶋和紙の里

遠藤公久副委員長 農山漁村発イノベーション等整備補助金が不採択となったが、その理由は。また、令和6年度の道の駅しもべの事業はどうするつもりか。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

産業課 この補助金は4億円までが上限になり、計画期間中は新たな事業を対象にできず、事業規模の小さい道の駅しもべのみでは現実的ではないため、令和6年度は別の補助金を考えるつもりである。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

遠藤公久副委員長 コンサルを入れたにも関わらず成果が出ていないように見えるがどうか。結果として3174万7000円の補助金が1648万9000円になったわけだが、事業の組み立てが甘かったのではと感じてしまうがどうか。

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

産業課 事業実施にあたり様々な資料を用意し計画を立てたが、過疎地域持続的発展支援交付金の申請時において、それらを活用している。また、この計画の採択基準は得点積み上げ方式になっており、満たして

いたと認識しており、前例もなく分析は困難である。

総務産業建設 常任委員会

委員長 伊藤雄波

▼議案第52号

身延町味噌加工施設条例の制定について

佐野昇委員 市之瀬味噌加工所の利用料金と身延町味噌加工施設の使用料の違いは、

見直した。年間報酬も国の基準に合わせられれば一番良いが、厳しい状況である。ボランティアの意識で長年地域の為に働いている人も多く、町の規模による団員基準数よりも多いという現状からも団員数の見直しも含めながら検討していく。

産業課 市之瀬味噌加工所は味噌加工の一釜あたりの味噌増加工料金で、身延町味噌加工施設は作業室の一日あたりの使用料である。



市之瀬味噌加工所

田中一泰議員 身延町味噌加工施設は事業として成り立つのか。

産業課 中小企業診断士に相談して作成した収支計画では、材料の購入については、あけぼの大豆1kgあたり1000円、販売は800gあたり1100円12トン生産して採算が取れる想定である。

渡辺文子議員 身延町味噌加工施設と市之瀬味噌加工所の駅しもべの味噌加工における違いは。

産業課 身延町味噌加工施設は、指定管理による味噌の大量生産販売、市之瀬味噌加工所は、個人等の小規模生産向けになる。市之瀬味噌加工所については老朽化もあり、将来的には味噌加工体験施設整備を検討している。

渡辺文子議員 身延町味噌加工施設について一般の方が味噌を作ることができるのか。

産業課 一般の方は味噌を作ることは出来なご。

遠藤公久議員 味噌の生産に必要なあけぼの大豆の量は供給できるのか。

産業課 現状出来ると考えている。

教育厚生常任委員会
委員長 渡辺文子

▼議案第53号
身延町印鑑条例の一部を改正する条例について

田中一泰委員 個人番号カードの機能がスマートフォンに搭載可能となるか。

町民課 個人番号カードに登録されている利用者証明用電子証明書がスマートフォンへ搭載可能となる。これによりコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機において利用者証明用電子証明書が搭載されたスマートフォンを用いて印鑑登録証明書等の交付を受けることができる。

※常任委員会所属議員を「委員」所属外議員を「議員」と表記しています。

本会議 討論

議員は採決の前にその案件に対して、賛成か反対かの自己の意見を表明することができます。意見表明することを「討論」といいます。自己の意見に反対の議員や賛否の意思を決めかねている議員に対し、自己の意見に賛同するよう理由を述べます。

認定第1号

令和4年度身延町一般会計特別会計歳入歳出決算

反対 渡辺文子 議員

身延町後期高齢者医療特別会計決算および身延町介護保険特別会計決算について、反対討論する。

高齢者の負担を増やし、高齢者の医療費を減らしていくことが目的の制度である。

介護事業所では、深刻な人手不足と低い介護報酬のもと、経営難が続いていて、コロナ禍がこうした事態を一層加速させている。それに加え、急激な物価上昇が施設の経営や介護労働者の生活悪化につながっている。介護に関わる経済的な心配をなくし、必要なときに必要なサービスが利用提供できる介護保険制度にすべきである。

賛成 山下利彦 議員

今後、被保険者数は団塊の世代と呼ばれる年代の方々が75歳に到達し、急激に被保険者数が伸びることが予想され、

県内においても令和5年度中には14万人を超える見通しである。

一方、1人当たりの医療給付費は、平成26年度から令和3年度を比べると年々増加し、1人当たり約2万5000円もの増加をしている状況で、全体の医療給付費は大きく増加することが見込まれる。

日本の少子高齢化社会の特徴は、74歳以下の人口が年々減少し続けていること。そのため現役世代の負担が大きくなる増加しないように、後期高齢者負担率は2年ごとに見直しがされている。

現在は、剰余金の医療給付基金3億8000万円を投入するなどして、保険料率の増加抑制がされた額になっている。何よりも被保険者が安心して医療を受けられる体制づくりが必要であり、後期高齢者医療制度の維持において、今回の後期高齢者医療特別会計の決算については賛成する。

議案に対する賛否

(賛成：○・反対：×・欠席：欠)



上田 孝二
伊藤 達美
渡辺 文子
野島 俊博
広島 法明
田中 一泰
望月 悟良
伊藤 雄波
佐野 知世
山下 利彦
佐野 昇
深山 光信
遠藤 公久

第3回定例会(9月6日～15日)

●決算		上田	伊藤	渡辺	野島	広島	田中	望月	伊藤	佐野	山下	佐野	深山	遠藤
議案第1号	令和4年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●条例の制定														
議案第52号	身延町味噌加工施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●条例の一部改正														
議案第53号	身延町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	身延町職員給与条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	身延町キャンプ場条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	身延町子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●補正予算														
議案第57号	令和5年度身延町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度身延町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和5年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第60号	令和5年度身延町下部奥の湯温泉事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●財産の取得														
議案第61号	財産の取得について(味噌加工施設備品)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●人事案件														
同意第25号	身延町教育委員会委員の任命について(小林美絵氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第26号	身延町公平委員会委員の選任について(赤池一博氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●発委案件														
発委第1号	身延町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●請願														
請願第1号	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数の改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●追加案件														
発議第1号	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数の改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●議長は賛否同数のみ採決に参加します。

内容については、P4～P5の「第3回定例会議案説明」及びをご覧ください。

「町民と議員との懇談会」を開催します

町民のみなさまのお声を

お聞かせください

3地区共通事項

申し込み不要

内容：9月定例会について、他
時間：午後7時～午後8時30分

中富地区

開催日：令和5年11月11日(土)

場所：中富地区公民館曙分館

下部地区

開催日：令和5年11月18日(土)

場所：下部地区公民館古関分館

身延地区

開催日：令和5年11月25日(土)

場所：身延地区公民館大河内分館

お気軽にご参加ください



一般質問

一般質問とは、議員が町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質すことです。また、執行者の所見や施策について報告を求めたり問い質すこともあります。質問の範囲は、町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

町政のあり方について質疑 9月7日

7人の議員が登壇

1 伊藤達美 議員……………13 ページ

- ① 予算化される事業の見直しについて 
- ② みのぶ乗り合いタクシーに関する予算について
- ③ 地域内における経済循環について 
- ④ 新中学校における教育内容について 
- ⑤ 人口減少に伴う財政への影響について

2 遠藤公久 議員……………14 ページ

- ① 新たな子育て支援策について
- ② 地方創生臨時交付金事業の効果検証について
- ③ チャットGPTの使用について 

3 山下利彦 議員……………15 ページ

- ① へき地を支える不採算医療確保について 
- ② 身延町の観光ビジョンと観光協議会について
- ③ 住民の生活を守る鳥獣害対策について
- ④ 災害対策について
- ⑤ 重層的支援体制整備事業計画作成について

4 佐野 昇 議員……………16 ページ

- ① 峡南地域の医療体制について
- ② 外国人材の受け入れについて 
- ③ 鳥獣被害対策の緊急事態宣言について

5 佐野知世 議員……………17 ページ

- ① 一色のほたる存続について
- ② SDGs 取り組みについて

6 深山光信 議員……………18 ページ

- ① 中学校の部活動について
- ② 地域貢献活動休暇の創設について 

7 渡辺文子 議員……………19 ページ

- ① 会計年度任用職員の処遇改善について
- ② 保育士配置基準の改善について
- ③ 夏休みや冬休みなどの長期の休みに体重が減ってしまう子どもたちがいると聞いたが対策は
- ④ 夏休みや冬休みに学童保育の子どもたちに給食センターで給食ができないか
- ⑤ 有害鳥獣対策について

○一般質問傍聴人数

14人の皆様が熱心に傍聴されました。
ありがとうございました。

※ここに掲載の順位は質問の通告順によります。

※掲載の内容は、紙面の関係上、質問を要約し掲載しています。掲載されていない項目  は各議員のQRコードからアクセスし、ご覧ください。

人口減少とわが町の財政

問 人口が1万人を割ることが想定されるが、この事実をどう捉えるか、町長の心境を伺う

答 人口が8000人、7000人になろうとも、身延町の未来に向け、私が町政の先頭に立ち、本町の抱える課題克服のための取り組みにスピード感を持って進めていく（町長）



いとう たつみ
伊藤 達美 議員

みのぶ乗合タクシー

問 乗合タクシー（デマンド）の経費は、令和3年度決算ではバス運行対策事業費負担金として町から451.5万円が地域公共交通活性化協議会へ支出されている。この協議会の設置の根拠は。

交通防災課長 地域公共交通活性化協議会は、平成19年に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき平成20年5月に設置した。協議会は町内の公共交通の活性化及び再生のために、地域における取り組みを総合的かつ効率的に推進する事を目的とし、地域公共交通総合連携計画の作成及び実施に必要必要な協議を行なう。

問 負担金として支出された予算は運行に関する経費だと推測する。負担金として支出された予算の内訳は。

交通防災課長 内訳の主なもの、運行事業者への運行委託料、予約センター業務委託料となる。



問 現状の10人乗りジャンボタクシーでは戸口まで行くのは難しい。戸口まで迎えるにきてくれれば助かる、との意見を聞く。そうであれば、戸口まで運転可能な軽自動車を活用して地域の人たちが運転手として利用者を支える方法を考えてもよいのではないか。

交通防災課長 自家用有償旅客運送制度は、バス・タクシー事業が成り立たず、地域における輸送手段の確保ができない場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービス。この制度での送迎は、町が使用権

原を有する自家用車を使用し、地域の方が運転手を行なう事も国の許可を受ければ可能になるが、旅客の安全と快適な移動を確保するため運転手の資格や車両の安全基準を厳守する事が必要となり、導入にあたっては関係者の十分な協議が必要と考える。

人口減少と財政

問 令和6年度上半期には人口が1万人を割る。町の財政にはどのような影響があるのか。

財政課長 人口減少に伴う納税義務者の減少に伴い地方税の落ち込みは、厳しいものになる。基幹的財源である普通交付税総額についても、影響がでてくる。また、旧合併特例事業債が、令和6年度に終了するため、さらに補助金や有利な地方債による財源を確保する姿勢が求められる。継続的事业については廃止を含め要否の判断をするなど、事務事業等の見直しが必要となる。

問 人口が1万人を割ること

が想定される。この事実をどう捉えるか。悲観論やあきらめが大半を占める。果敢にそれに対抗し乗り越えて行くべきだ、との意見は少数派である。このような現状をみて、町長の心境を伺う。

町長 本町の人口構成によれば、人口の自然減少から免れることはできない。しかし、現状の少子高齢化や人口減少により、先行きに希望がないと考える悲観的な思いはない。例えば本町の人口が8000人、7000人になろうとも、身延町に住んでいる皆さんと元気で活気のある町づくりを進めていく。20年30年先の未来に向け、私が町政の先頭に立ち、本町の抱える課題克服への取り組みにスピード感を持って進めていく。



新たな子育て支援策について

問

経済的負担や身体的負担の軽減のための通学用リュックの無償提供の検討は

答

今後、社会情勢などを考慮する中で検討していく
(学校教育課長)



えんどう きみひさ
遠藤 公久 議員

新たな子育て支援策について

問 夏休みの学童保育の利用実績は。

子育て支援課長 利用者数は令和4年度、延べ1499人、令和5年度は延べ1730人。

問 学童保育利用者にお弁当などの有料提供についての意向調査を実施し、それが実現可能かなど検討する予定は。

子育て支援課長 昼食提供は全国の事業所は約2割が実施、山梨県内では実施状況が把握できていない現状。地域の実情や保護者の意向を調査していく中で、導入の可否について検討していかなければならないと考える。

地方創生臨時交付金事業の効果検証について

問 コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金事業の効果検証実施時期、担当部署取りまとめ後のホームページへの公表時期は。

財政課長 事業が完了後、速やかに担当部署で事業の検証を行ない、財政課で取りまとめた。令和2年度及び令和3年度完了事業については、令和4年11月11日に町のホームページにおいて公表した。

再質問 会計検査院調査時に公表も完了していたとの認識で間違いないか。

財政課長 令和4年5月17日に、令和2年度完了事業を対象とする会計検査院による検査があった。公表の時期については検査後である。今後の事業効果検証結果は速やかに町のホームページへの公表を行なう。

再質問 公表されているホームページ上の階層が深く、非常に見つけにくい。公表の方法などについての改善は。

再質問 公表されているホームページ上の階層が深く、非常に見つけにくい。公表の方法などについての改善は。

財政課長 町のホームページ上に分かりやすく公表していく。

問 検証の具体的な方法、例えば多くの声とは何を基準に効果検証を行なったのか。

財政課長 延べ5回実施した商品券配布事業は、事業実施後に事業所を対象としたアンケート調査を実施した。



交付金で購入した air dog

問 令和2年実施のサテライトオフィス事業の現在までの問い合わせ件数及び募集状況など事業実績は。

企画政策課長 サテライトオフィスの問い合わせ件数は、現在まで33件。募集は、身延町サテライトオフィスPRサイトによる発信及びチラシによるPR、マッチングイベントへの参加により行なっている。

問 令和3年度以降の本事業への予算執行の状況と、今後の事業の見通しは。

企画政策課長 令和3年度の予算執行額は合計971万710円。令和4年度の予算執行額は合計89万4600円。令和5年度は、総額61万2000円を予算計上。今後、町の資源である観光や特産品、豊かな自然環境などの特徴を発信し、継続してサテライトオフィス誘致への取り組みを進めていく。

再質問 Webサイトにおける情報の更新など今後の改善は。

企画政策課長 今後もこれまでと同様に必要な情報を更新し、発信していく。

【その他の質問】

・観光課所管の観光PR事業について

・チャットGPTの使用(学校教育・行政事務の使用)について



富山県立山町導入バックパック

重層的支援体制整備事業への取り組みについて



やました としひこ
山下 利彦 議員

問 住民が抱える課題が複雑化する中、市町村が創意工夫をもって包括的な支援体制を円滑に構築・実践できる仕組みづくりの事業であり、取り組むべきと考えるが

答 本町では複合的な課題を持った方に対して、ケース会議を開催するなど、分野を超え横の連携を密にしながら対応し支援しているため、本事業に取り組む予定はない（福祉保健課長）



観光ビジョンと観光協議会

問 町民自らの町の自然、歴史文化に積極的に触れ、その良さを実感し、共通の価値観や認識を外に発信していかねければ観光の発展はない。観光プランなど観光振興政策には、観光客数や消費動向調査といった情報分析は重要なツールだ。身延町の観光状況の推移と分析は。

観光課長 山梨県入込客数調査により把握している。今後はこの調査に加え、峡南ネクスト共創会議の市場調査等を参考にし、近年の旅行形態の変化やコロナ後の動向を見据えた新たな観光ビジョンを作成する予定である。

生活を守る鳥獣害対策

問 県では、森林と希少植物を鳥獣害から保護するため、峡南地区4地区の山林、河川敷、田畑など29箇所にかメラを設置し、撮影を令和3年から開始した。その結果、シカ、イノシシが高頻度に出没する場所や時間の

特定や季節の周期性が把握されている。猟友会との協力体制を強化し、県の貴重なデータを参考に各要所に箱罠を増設設置し、鳥獣害撲滅年次計画を立てるなど町の政策として取り組むべきと考えるが。

産業課長 県等の様々なデータは貴重なものと考え、猟友会の皆様と協力体制を継続し鳥獣害対策を進めていく。箱罠の増設設置についても、被害状況等を勘案する中で、その都度検討していく。

命を守る災害対策

問 身延町の避難の目安となる降水量など、速やかな発令のための独自の基準は。

交通防災課長 気象庁甲府地方気象台と情報を共有し、避難所の開設等の判断をしている。富士川の水位情報は、清水端の水位観測所の水位を確認し、消防団の出動判断の目安としている。町民の避難指示の具体的な降水量などの発令基準は定めていないが、気象庁の発令基準を基礎として対応している。

問 観測技術が向上し、得られる気象データが増えている。データを独自に読み取る専門職員の採用や防災担当職員の育成が必要と考えるが。

交通防災課長 令和2年から防災専門官を任期付きで雇用している。交通防災課の職員は県の防災リーダー養成講座を受講し、防災士として認証登録もしている。

重層的支援体制整備事業

問 民生委員の職務遂行のための個人情報取扱いは。

福祉保健課長 守秘義務が課せられているため、個人情報が必要に応じて提供されるよう条例の解釈、運用に努めている。

問 障がい者の法定障がい者雇用率確保について。

総務課長 本町は、令和3年度の職員採用試験において障がい者雇用枠を設け、1名採用した。法定雇用率は満たしている。

問 身延町の認知症と共に生きる地域づくりの現状は。

福祉保健課長 認知症を考える集いや認知症サポーター養成講座を実施している。

問 子どもの貧困を正確に把握するための身延町のアウトリーチ事業については。

子育て支援課長 一般的な支援から抜け落ちてしまう被災者の状況に合わせ、地域のネットワークを活かしながら、援助活動を行うことでヤングケアラーへの理解を深め、個々の実情に合わせた支援を行なっていく。

問 重層的支援体制整備事業とは、前段の子どもや高齢者、障がい者など全ての住民の様々な問題に対して質の高い行政サービスを提供できる縦割りをなくした組織づくりだ。身延町の総合計画に掲げるテーマを実感する町づくりに、この事業に積極的に取り組む意義はあると考えるが。

福祉保健課長 本町においては、子ども、障がい、高齢生活困窮などの相談があった場合、それぞれで対応しているが、必要に応じて複数の担当者が集まりケース会議を開催するなど、分野を超え横の連携を密にしながら対応支援しているため、本事業に取り組む予定はない。

峡南地域の医療体制について

問

峡南地域の医療と福祉が、危機的状況に瀕している。住民の医療福祉を維持するための方策を今すぐ開始すべきだが

答

峡南南部地域医療連携推進協議会を設置、将来的な経営統合を視野に医療連携を効果的に確保するための経営形態の方向性を検討している（福祉保健課長）



さの のほる 昇 議員
佐野

峡南地域の医療体制について

問 「峡南南部地域医療体制等調査業務報告」が公表されたが調査提案の評価・審査のメンバーは。

福祉保健課長 プロポーザル評価委員会は、飯富病院は院長と副院長、身延山病院は院長と事務長、行政関係は、身延町・早川町・南部町の各福祉保健課長、県の医務課長補佐である。

問 委託金額と詳細は。

福祉保健課長 契約金額は、1320万円で、県の補助金980万円、飯富病院110万円、身延山病院110万円、身延町100万円、早川町65万円、南部町55万円の負担である。

問 この基礎資料をもとに、峡南南部地域医療体制について検討委員会では、どう対応しようとしているのか。

福祉保健課長 これからの地域の医療・介護を確保するためには、両病院との間で連携を強め病院機能の集約・分化を図り、効率的な医療・介護提供体制を構築

する必要がある。病院間連携を進めるに当たり、2病院の経営形態の変更も視野に入れつつ3町、公益財団法人、2病院は検討を継続するという認識が共有された。そこで、峡南南部地域

医療連携推進協議会を設置した。委員は3町長、身延山病院は、法人理事・院長・副院長・看護部長、飯富病院は、院長・副院長・看護部長、南部診療所長、県では、医務課長・峡南保健所長の合計14人。今後はこの協議会を中心に医療連携を効果的に確保するため検討していく。

問 15年前に峡南6病院の院長が「県内でも過疎と高齢化が最も進んだ地域で危機的状況であり、住民の医療福祉を維持するための方策を今すぐ開始すべきである。」と峡南地域の医療体制への提言をしている。峡南地域保健医療推進委員会も再生計画の推進協議を行なっているが、町と医療機関・委員会のこれまでの経過は。

福祉保健課長 地域医療再生計画では、その対策として

- ①医療従事者の確保、②医療機関の連携の推進、③在宅医療のモデル地区化、を掲げていた。中南部地域の3病院では各病院が得意とする分野を強化することで、医療連携を推進していくこととで合意、南部町については、町営診療所の機能強化、在宅医療のモデル地区化では、飯富病院内に峡南在宅医療支援センターを開設などが報告されている。推進委員会等の組織の構成員として対策に取り組んできた。

再質問 両病院の先生方も今

すぐにも連携・適切に機能集約して、地域の効率的な医療・介護の提供体制を取りたいと言っている。医療連携推進協議会では、経営統合を視野に入れ医療連携を効果的に確保するため、提供体制を構築するという理解でよろしいか。

福祉保健課長 医療連携推進協議会で協議、決定されていくことで、今の段階では構築すると断言できない。将来的な経営統合を視野に

鳥獣被害の緊急事態宣言について

医療連携を効果的に確保するための、経営形態の方向性を協議会で検討している。

問 地域の皆さんから寄せられる被害の内容、猟友会の皆さんからお聞きした実情は耐え難い被害の内容である。現状は非常事態と判断するが、見解は。

産業課長 知事から許可を受け個体数を調整する「適正管理捕獲」を中心に各分会にお願ひして、適正管理捕獲許可範囲内となる。今後

も猟友会の意向や地域住民の皆さんの要望等取り入れ、適正管理捕獲対応をしていく。

再質問 住民の生活環境を脅かしている。今までと違う

緊急対応をお願いしている。産業課長 割り当て頭数内の捕獲を継続し、個体数は町全体で偏りなく減らしていくのが適当と考えている。

他の質問事項

外国人材の受け入れについて

一色のほたる存続について

問 一色のほたるの里に関しての本年度の事業内容及び事業計画は。

答 ほたる観賞期間には多くの方が訪れるため、川沿いの遊歩道の草刈り、路肩へロープを張るなど安全対策を行なった。また、交通警備員を配置し、交通誘導を行った。観光 Web サイト等でも周知を図った（観光課長）



佐野 知世 議員

一色のほたる存続について

問 現在一色の集落においては高齢化が進み、環境保全活動が鈍化し、それに伴いホタルの数も年々減少しているのが実情である。これについてのこれからの整備保全についての見解は。

生涯学習課長

ホタルが生息する環境は、一色ほたる保存会の活動により保たれているが、ホタルが減少していることは事実である。減少の原因として地球温暖化等による影響も少なくない。毎年ホタルの飛翔数を観測注視しながら、今後ともほたる保存会と協力しながら保存に努めていく。

問

ほたる祭りは町の行事の一つとして、コロナウイルスの蔓延する前年まで集落や町を含む外部団体の協力を得る中、盛大に開催されていた。しかしながら今年度はコロナが5類に移行されたが、現状祭りの再開は厳しい状況と判断せざるを得ないと一色の実行委員会はこぼしている。町ではどう考えているか。

観光課長

今後のほたる祭りの実施の可否については、ほたる祭り実行委員会が実施主体となるので、町は実行委員会の判断を尊重して対応する。なお、祭りが実施されない場合でも今年度と同様の安全対策を講じると共に来訪PRをしていく。



一色川の現状

問

第一に必要なのはホタルが増える事であり、川に被っている両岸の樹枝の伐採を行ない、川を明るくしてやる必要がある、餌であるカワニナの増殖も重要な課題である。このような取組の提案についてはどのように考えるか。

生涯学習課長

町の昆虫であるホタルが増えることが大事だと考える。この地域のホタルが自然繁殖することが特に重要である。生育環境や餌になるカワニナについても一色ほたる保存会の方々と協力しながら調査研究を進めていく。



一色川のホタルの様子

SDGsの取り組みについては

問

SDGsについては地球温暖化等に関係する目標7（エネルギーのクリーン化）の課題である二酸化炭素の排出の抑制であり、温室効果ガスを発生しない再生可能エネルギーの割合の拡大をターゲットにしているが、その取り組みの実績及びこれからの計画はあるか。

環境上下水道課長

本町が具体的にこなっている取り組みとしては平成24年度より住宅用太陽光発電システムを設置した町民等に対し、一律5万円の補助を行っており新身延中学校、身延町民体育館等のLED化を導入している。また「地球温暖化対策実行計画」を平成18年度に策定し、2050年に「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を掲げている。



SDGsのロゴマーク

中学校の部活動について

問 子どもたちがやりたいことができる環境づくりをしていくのも町づくりのひとつだと思うが、町の考えは

答 関係者間で丁寧に検討し、方針を定めていく
(学校教育課長)



ふかやま こうしん
深山 光信 議員

中学校の部活動について

問

身延ユナイテッドサッカースポーツ少年団は、監督、指導者が一生懸命指導しているおかげで、現在40名を超える大人数になる。

ある中学生の話ですが、「小学校ではサッカーをやっていたけれども、中学校にはないので町外のサッカークラブに通っている」と。「楽しいけれど、学校の先輩とのつながりがなくて、一緒にできなくてさみしい。中学校でサッカーがしたい。」とのことでした。卒団した児童は中学校にいても好きなスポーツができない、これだけ多くのサッカー少年少女がいるのに、中学校に部活がない。身延町の教育は、県内でも進んでいる教育環境である。文部科学省から出された運動部活動での指導ガイドラインには、運動部活動の学校教育における位置付け、意義、役割等について「運動部活動は学校教育の一環として行われるものです」と明記されている。

子育て支援も充実して、教育環境も充実している身延町であるが、部活動の環境はいかなるものか。少子化が進む本町で子どもの数が少なくなり、団体スポーツ、部活動を成り立たせるのは難しくなっている。

また国は部活動の地域移行を進めている。地域移行のめども立っていない中、地域移行、外部指導員の確保、教職員の部活動の負担減なども含めて、今の時代に合った部活動について協議をしてほしい。

子どもたちがやりたいことができる環境づくりをしていくのも、町づくりのひとつだと思うが、町の考えは。



場所：下山小学校



中学校の部活動でサッカーを続けたいが、身延中学校にはない。



学校教育課長

学校の部活動をめぐる状況については、近年、少子化に伴い生徒数の減少により持続可能性の面で厳しさが増している。さらに、休日も含めた指導や大会への引率、運営への参画が求められるなど、教師にとって大きな業務負担となっており、専門性や意思にかかわらず教員が顧問を務める、これまでの指導体制を継続することは、学校における働き方改革が進む中、より一層厳しくなっている。

地域移行は、地域の実情に応じて進める必要がある。中学校をはじめ生徒保護者の意向、地域の関係者と連絡を密にし、調整・協議しながら進めていくことになる。

地域移行を含め部活動外部指導員の活用など、今後の部活動のあり方は、生徒がスポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保ができることを念頭に、県の指導もいたいただきながら、関係者間で丁寧に検討し方針を定めていく。

子どもの貧困対策について

問 夏休みなどの長期の休みに体重が減ってしまう子どもがいるが、町として対策はあるのか

答 身延町においては町全体で想定しうる子育てに対する経済支援施策を実施している(子育て支援課長)



わたなべ ふみこ
渡辺 文子 議員

フードバンク頼みでない支援を

問 夏休みや冬休みなどの長期の休みに体重が減ってしまう子どもがいるが、町として対策はあるのか。

子育て支援課長 本町においては町全体で想定しうる子育てに対する経済支援施策を実施している。これからの「子ども政策」の状況に鑑みながら、本町の状況に照らし合わせて対応していく。

問 身延町では子どもたちに先進的に支援をしているのは理解している。しかし生きていくことが大変という子ども達にはフードバンク頼みだけではなく、行政も一緒にやって支援をする仕組みが必要だと思うが。

町長 民間も本町ではあまり動いていないように感じている。もし民間でそういう動きが出れば、行政としてもバックアップを出来ると思う。本町にお困りであれば行政に相談して欲しい。

問 フードバンク山梨で「フードバンク子ども支援プロジェクト」を学校と連携して行なっているが身延町も行なっているか。

学校教育課長 小中学校で就学援助などの制度を利用して、いる家庭に給食のない期間に食品を受けられる制度の通知文と申請書を教育委員会から送付し、制度を周知している。

夏休みなどの学童保育の子ども達に給食を

問 働いている母親からお弁当を持たせることが大変だと聞いた。給食ができないか。

子育て支援課長 現時点では持参した弁当以外の昼食について想定していない。

問 実施している市町村もあり、給食で命をつないでいる子どもたちのことを考えると是非考えてほしいが。

町長 給食センターではなかなか難しい。民間で配食できるかなどこれから研究する。

会計年度任用職員の処遇改善を

問 地方自治体で働く非正規職員の処遇改善を趣旨として制度化されたはずだが、これまでより悪化した例が全国各地から報告されている。本町の事態の把握はされているか。

総務課長 国のマニュアルに沿った運用をしている。

問 他の自治体でも同じようにしているが、処遇改善どころか、悪くなっている実態があるので心配だが。

町長 出来る範囲の中で改善ができるようがあるかどうか、検討していく。

保育士配置基準の改善を

問 国の基準は守られているとは思いますが、70年以上前に決められたものもある。災害時など、子どもたちの安全を第一に考え、保育士の配置を考えてほしいが。

子育て支援課長 身延町立保育所としては、配置数を充足させていて、保育士の努力のもと在園児が健やかに育っている。

問 子どもが少ないからこそより安全な配置ができるのではないか。

町長 適正な配置基準以上の配置は充足させているが、休園などがあつた時など考えていく。

有害鳥獣対策について

問 捕獲に関わる経費を考えると捕獲奨励金の見直しが必要だと思うが。

産業課長 捕獲に要する経費や財源確保等を勘案しながら、猟友会の皆さんと協議をしていく。

問 中山間地域総合整備事業の防護柵を設置したが、設置後の管理が行き届かず有効に機能していない。柵の中の自衛の電気柵などの補助の考えは。

産業課長 補助率は通常の80%から50%となりますが、農地へ設置する有害鳥獣防除用施設資機材購入に対する補助を受けられる。



町長 望月 幹也

町長行政報告



令和5年度の普通交付税は総額40億5638万9000円。 今後とも財政運営の健全化に努めていく。

◆はじめに

令和5年度の普通交付税が決定され、7月28日に県から公表された。令和4年度と比較して、4264万円増の40億5638万9000円である。前年度比において、基準財政収入額は2.5%の増となった。主な増額の要因としては、地方消費税交付金や住民税所得割の増となっている。一方で、基準財政需要額は、前年度比1.4%の増となった。主な増額の要因としては、包括算定経費及び高齢者保健福祉費の増や、地域デジタル社会推進の増などが、普通交付税算定における大きな増額の要因となった。歳入予算額の約4割を地方交付税が占める本町では、今後とも財政運営の健全化に努めていかなければならない。

●身延中学校新校舎等整備事業について

今年4月から始まった木造建て方は、西棟から行なわれ、8月上旬には体育館まで完了した。当初の予定工程と比べても順調に進捗している。7月12日には、中学2・3年生106人を対象に上棟式を開催した。10月には中学1年生49人を対象として新校舎の現場見学会を開催し、工事現場で働く職人の方々から仕事の紹介や質疑応答などを行なうキャリア教育を実施していく。県内最大級の木造建築物である身延中学校新校舎は、すでに県内外から注目を集めており、各業界から取材や問い合わせがあり、いくつもの新聞などにも掲載された。去る6月2日には甲府工業高校建築科3年生40名、6月12日には笛吹高校土木科2・3年生30名、6月20日には甲府工業

高校定時制建築科2・4年生20人が現場見学を行なった。来年4月の開校に向け、工期が遅れないよう工程管理を徹底し、無事故で工事が完成するように心がける。

●身延中学校給食センターについて

給食センター建設工事は、6月7日に身延清稜小と下山小の1・2年生41名、6月16日に身延小1・2年生39名を対象に施設の内部見学会を行なった。7月6日には、議員の皆様をはじめ、関係各位ご出席のもと、竣工式を挙行し、8月25日からは、予定通り町内4小中学校へ給食を提供している。

●「身延町のワン商品券」給付事業について

原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰対策として、町内の事業者への支援と地域

●身延町味噌加工施設整備事業について

本事業は、令和5年度当初予算において、「農山漁村発イノベーション等整備事業費補助金」を活用し実施することと、議決をいただいたが、令和5年5月に不採択との通知を受けたため、代替補助金を「過疎地域持続的発展支援交付金」に定め、事業を継続している。今議会において、財源の組替、消耗品購入に関する補正予算、備品購入契約、条例制定について提案する。

猟友会と議員との懇談会

総務産業建設常任委員会では、身延町猟友会（身延・中富・下部）各分会の役員の皆様に出席を頂き、活動内容や困り事などを伺い意見交換を行なった。

※会員数：身延分会 26 人、中富分会 22 人、下部分会 42 人



＊とき 令和5年7月7日（金）
午後7時30分から午後9時16分

＊会場 身延地区公民館 下山分館

＊参加者 計30人
（団体15人、議員13人、事務局2人）

質疑応答

Q メンバーの多くは農業被害を防ぎたいとの思いで活動している。猟友会と町で連携して鳥獣対策を進めることが必要である。また、シビエが盛んになっている、処理場についても町と連携が必要だと思うが。（下部地区男性）

A 盛んになり各地で食べられている。議会でも検討をしていく。

Q ① 各分会が個別に活動しているが、今後は3地区が一つにならないとうにもならないと思う。人手不足もあり、検討する必要がある。（身延地区男性）

Q ② 産業課と各地区猟友会会長で組織等を作り進める必要がある。（中富地区男性）

A 町の産業課とも話をして、町と3地区で合同の会議を持ちたい。

Q どの分会も若い人が少ない、入会させていかないと駆除どころではない。方法を検討し町の援助が必要である。ワナの技術が進み、時間も短縮、簡単に捕獲できると思う。その後の処理について考えてほしい。（身延地区男性）

A 建設的なお話をいただいた。検討を進めていく。

Q 産業課だけでなく、町の方針が必要だと思う。猟友会メンバーを増やすこと

と、健康年齢を高めること、現場で起きていること、真剣に考える必要がある。（下部地区男性）

A 持ち帰り報告する。議会でも検討していく。

Q あけぼの地区でヤギを放し飼いでいる。条例はどうなっているのか、有害駆除が出来なくて困っている。どうしたらよいか。（中富地区男性）

A 条例には決め事が無い、他市町村で条例がある所もある。町へ伝える。

提言・意見・要望

○捕獲後の処理について持ち込みが休日になる。峡南衛生組合で受入れ出来るようにしてほしい。

○大城地区でクマに杉の皮がはがされて約半分が被害を受けている。検討してほしい。

○サルの檻を増やしてほしい。檻の依頼が多いが、順番待ちの状態である。

○田んぼに每晚シカが出没、田んぼをやめた方もいる。民家のすぐそばで子育てしている。

○ワナを掛けてくれと言われるが他分会のエリアに行って掛けることは出来ない。活動が別々である。

組合議会報告

一部事務組合とは、複数の地方公共団体（市町村、特別区など）が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関で、地方自治法284条2項により設けられる。特別地方公共団体の一つ。

○峡南広域行政組合議会（市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町の5町で構成。）

第1回臨時会 令和5年8月21日（月） 峡南広域行政組合（市川三郷町）		
議案番号	議案名	採決結果
議案第12号	峡南広域行政組合火災予防条例中改正の件	可決
議案第13号	高規格救急自動車の売買契約締結の件	可決
議案第14号	峡南広域行政組合消防庁舎等整備事業設計施工請負締結の件	可決

（概要）構成する5町の事業の中で広域的に処理する4つの事業を実施。情報センター、消防本部、老人ホーム、事務局総務課など。代表理事は身延町長。

○後期高齢者医療広域連合組合議会（山梨県内すべての市町村で構成）

第1回臨時会 令和5年7月20日（木） 山梨県自治会館（甲府市）		
議案番号	議案名	採決結果
承認第1,2号	一般会計補正予算（第3号）後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	承認
議案第7,8号	情報公開条例の1部を改正する条例 個人情報保護に関する条例一部改正	可決
同意第1,2,3号	副広域連合長の選任の同意 監査委員の選任の同意、公平委員会委員選任の同意	同意

（概要）主に高齢者医療制度の資格管理や保険料の賦課、高額療養費等の支給などを行う。連合長は笛吹市長

◎主な議会の動き【令和5年7～9月】

8月		7月	
2221 23日	1817 8日	3 3日	1 1日
2826 21日	1918 12日	1110 7日	6 5日
3 4日	12 13日	7 6日	5 3日
1 1日	12 12日	1110 7日	6 5日
南アルプス周遊自動車道道路整備促進期成同盟会	全国議長会会長会 町村議会広報研修会 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会	第1回山身連市町村議会懇談会 教育厚生常任委員会勉強会 第4回広報編集委員会（第75号） 新給食センター竣工式 山梨県町村議会1期議員研修会 団体と議員との懇談会（猟友会） 広報編集正副委員長最終確認 国中6町議会議員研修会 関東議長会歓送懇談会 市川三郷身延縦貫道整備促進期成同盟会	第1回山身連市町村議会懇談会 教育厚生常任委員会勉強会 第4回広報編集委員会（第75号） 新給食センター竣工式 山梨県町村議会1期議員研修会 団体と議員との懇談会（猟友会） 広報編集正副委員長最終確認 国中6町議会議員研修会 関東議長会歓送懇談会 市川三郷身延縦貫道整備促進期成同盟会
富士川林業振興会定期総会	第16回議会改革推進特別委員会 第2回町村議会議長会 第2回広報編集委員会	第11回議会改革推進特別委員会 第2回町村議会議長会 第2回広報編集委員会	第11回議会改革推進特別委員会 第2回町村議会議長会 第2回広報編集委員会
行政視察来町（長野県長和町） 中北・峡南地域議会議長会 県町村議会広報編集委員行政調査	第1回町村議会運営委員長会 山梨県道路整備促進大会総会 市町村総合事務組合第1回臨時会 身延町簡易水道運営審議会 身延町下水道事業審議会 関東議長会管外先進地行政視察	第1回山身連市町村議会懇談会 教育厚生常任委員会勉強会 第4回広報編集委員会（第75号） 新給食センター竣工式 山梨県町村議会1期議員研修会 団体と議員との懇談会（猟友会） 広報編集正副委員長最終確認 国中6町議会議員研修会 関東議長会歓送懇談会 市川三郷身延縦貫道整備促進期成同盟会	第1回山身連市町村議会懇談会 教育厚生常任委員会勉強会 第4回広報編集委員会（第75号） 新給食センター竣工式 山梨県町村議会1期議員研修会 団体と議員との懇談会（猟友会） 広報編集正副委員長最終確認 国中6町議会議員研修会 関東議長会歓送懇談会 市川三郷身延縦貫道整備促進期成同盟会
（2日間）	（2日間）	（2日間）	（2日間）



長和町の行政視察・デマンド交通について

★表紙について

- 地域のお祭りという感じもするし、議員さん達が参加したことも分かり、良いと思います。
- 身延山開創750年にふさわしく議員の皆様、装束も素晴らしく記念の一枚になりました。構図も身延町独自性があり良かった。

★町民と議員との懇談会

- 町民の皆様の直接の質問、意見を伝えられる大切な懇談会だと思います。私のような宿泊業では、土日の夜は参加が難しいですが、住民の皆さんにおいては、この時間帯が一番参加しやすいのではと思います。
- 写真があることにより、どのぐらいの人達が参加したか分かるのが良いと思います。文章も分かりやすく端的にまとまっていると思います。
- 提言・意見・要望と質疑応答の欄、詳しく説明内容がほしい。

★第2回定例会、第2回臨時会 議案説明

- 物価が上がる中、収入は増えないので、臨時支給して頂けることは本当に有難いです。町民の現状に添った効果の実感できる施策だと思います。
- ドローン写真など、わかりやすく記載されています。

★常任委員会レポート

- 写真があると分かり易いので、写真のサイズをもう少し小さくして、写真の数を増やしたらどうでしょうか。
- シェアサイクルの写真が載っていますが、町民の方にも知ってもらうために、簡単な説明や設置場所を載せてあるとさらに良いと思います。
- 「主な議会の動き」の欄は今まで知らなかった活動内容の一部を知らされた気がしました。町民の知り得ない所での議員さん達のご苦労が垣間見えます。必要な欄だと思います。

モニター通信

(議会だよりNo75の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様への「心に伝わる」議会だよりを目指します。

★議案に対する賛否

- QRコードより動画を見ました。今までは一覧表で目を通すだけでしたが、議会の様子が見られてとても良いと思います。

★一般質問8人

- 定例会、常任委員会、一般質問、多岐にわたり素晴らしい質問や意見に敬服します。何が課題で進捗状況は、今こんな状態で、今後の状況など、具体的に何が変化し動いているのが、分るような、議会だよりの内容構成になるよう工夫をお願いします。その動きがわかることで、議員さんの存在価値が町民にも高まって、議員さんへの立候補者も出てくるのではないのでしょうか。
- 一般質問のページにQRコードをつけてもらい、実際の質疑の様子を聞くことができ良かったです。実際に音声や画像で各議員の質問や答弁を聞くことができ、文章で読むよりも、議員の熱意が伝わってきました。またもっと知りたいこともQRコードでアクセスすれば詳しく分かりました。

★町長施政方針

- 様々な事業、調整に積極的に取り組んでいることが感じ取れます。これからも身延町が住みやすい町になることを期待します。
- 令和4年度の決算処理が黒字決算、コロナ禍で多くの事業等中止となったためか、説明が詳しく欲しかった。コロナ禍の状況で予算を多く計上したのか説明してほしかった。

★議会広報モニター意見交換会

- もっと町政を知らないと、建設的な意見が述べられないと感じました。
- 出席者が少なかったので少し驚きましたが、その分、意見を出しやすい雰囲気だった感じも感じます。その場でないと思いつかない発想や意見も多いので次回もまた参加したいと思います。他の方の意見が聞けてとても有意義な交換会でした。

★モニター通信

- モニターさんの様々な意見を議会広報に組み込んで、読みやすくなっていると思います。
- 多方面からの意見が寄せられ有意義な紙面と思われた。多くの町民の関心を引くように前進させてほしい。

★おじやまします

- フラワーアレンジメントは体験したことがありますが、生け花よりも手軽にできて、見栄えも良いです。このコーナーを見て参加したいと思う人が増えると思います。
- 毎回、いろいろなサークルの紹介楽しみに拝読しています。それによってコミュニケーションの輪が広がって孤独者が一人でもなくなることを期待します。

★町政へのご意見・ご要望

- 何年前かに、町主催で育成会対象のグラウンドゴルフ大会（夏休み中だったと思います）がありました。今後、復活しても楽しいかと思います。今号（No75）には、QRコードで動画が見られる所が素晴らしかったです。
- 編集後記に、何もかもが減少傾向にある行政の在り方、動き方を変えることができるのは、議員さんの力しかないように思います。もっと大きな力を発揮する事ができるのは町長さんであり、選出された議員さんの力で議論し連携しながら動きを推進していただきたいと願っています。



おじやまします

みのワン

角打みどり会

みどり会は地域のお祭りなどの伝統継承に力を入れて活動しているグループです。
 正月の縁起物獅子舞には、子ども達が頭を噛んでもらう為並びます。小正月の道祖神のお飾り「オヤナギ」の飾り付けや秋のお祭りには中学生に笛や太鼓のお囃子の指導などを行ない、実りの時期の収穫に感謝して賑やかに祭りが開催されます。
 みどり会は祭りや地域コミュニティの醸成に大きく寄与しています。



編集後記

表紙の写真は梅平の地で最後の身延中学校輝桜祭の様子。来年4月には、身延中学校は町の中央部に位置する下山の地へ移り変わり、身延中学校の歴史に新たな1ページが刻まれます。

今回の議会だよりは、令和4年度一般会計決算報告の注目すべき事業と決算額をその写真とともに掲載しました。日頃からお世話になっている議会広報モニター皆様のご意見等を取り入れながら、一新されたページになっています。

変わることを恐れない、今の時代に合った読まれる、見られる議会だより制作を目指します。

(光信)

議会広報編集委員会

- 委員長 伊藤達美
- 副委員長 深山光信
- 委員 遠藤公久
- 委員 佐藤昇
- 委員 山下利彦
- 委員 佐野知世

やすひと
会長 雨宮尉仁
 メンバー 26名で活動

過去の議会だよりは、
 こちらから閲覧できます

